

令和6年度

学校運営協議会（最終報告）

令和7年3月

学校名 昭島市立共成小学校

1. 学校運営協議会委員

	氏名	役職	選出区分
会長	紅林 隆男	元PTA会長	地域住民
副会長	香月 温子	保護司	学校の運営に資する活動を行う者
委員	榊 かおる	人権擁護委員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	関野 久江	放課後子ども教室 指導員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	野口 章	地区委員会委員長	地域住民
委員	赤沼 香織	放課後子ども教室 メインコーディネーター	学校の運営に資する活動を行う者
委員	岡本 美奈	主任児童委員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	高木 聖子	PTA会長	保護者
校長	森本 弘子	共成小学校 校長	校長
副校長	鳥海 剛	共成小学校 副校長	副校長

2. 開催日及び主な議題等

	日付	内容	備考
第1回	令和6年6月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・校長より ・自己紹介 ・学校運営協議会について ・令和6年度学校経営方針の概要 ・今年度の教育活動について ・意見交換 	・学校公開のため、授業参観を行ってからの開催
第2回	令和6年9月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・校長より ・道徳授業地区公開講座の様子について ・1学期の校内評価について ・教員の異動について ・2学期の学校の様子について ・意見交換 	・学校公開のため、授業参観を行ってからの開催
第3回	令和6年12月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・校長より ・運動会の様子や2学期の学校の様子について ・2学期の校内評価について ・学力調査、学校評価の結果について ・学校関係者評価について ・意見交換 	
第4回	令和7年1月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・校長より ・3学期の学校の様子について ・令和7年度の教育課程について ・学校関係者評価の実施 ・意見交換 	
第5回	令和7年2月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・校長より ・令和7年度の教育課程について ・今年度の学校の様子について ・次年度の計画について ・意見交換 	・共成ショータイム（展覧会）を鑑賞後、開催

3. 学校運営協議会の取組における成果と課題

児童・生徒面において

◎中間報告

- ・学校公開後に、会を設定することで児童のリアルタイムの様子を見て話し合うことができた。
- ・それぞれの立場から教育活動に関わっている児童の様子を聞かせていただき、情報交換をすることができた。
- ・学校運営協議会委員の方の公開授業も参観することができた。委員の方と直接、児童が交流し、具体的な児童の実態を感じるよい機会にすることができた。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・年間を通して、授業の様子を見ていただき、児童の実態を深く理解していただくことができた。
- ・委員の方々の活動の中での児童の様子も情報交換したり、今後に向けて児童をどのように育てて行くとよいのかを話し合うことができた。
- ・2名の委員の方を授業に講師で招き、直接、児童との関わりをもつことは、協議会で話合う上で、とても有意義なものになった。

教員面において

◎中間報告

- ・第1回の際に、地域の方でご協力をお願いしたことで、図工の材料について相談にのっていただいたり、3,4年生の「防災教育」にゲストティーチャーで自治会の方を呼び、地域の取組を紹介していただいたりした。
- ・委員の方が、相談の架け橋となっていたいただいたことで、地域包括センターの方と連絡を取ることができ、複数の学年で地域の方と交流をスムーズに行うことができた。
- ・本校の教員の異動について情報共有をすることができた。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・地域の方にいただいた木材は、3年生の共成ショータイムの立体作品として活用させていただいた。中学年の「防災教育」の発表会に地域の方も招き、児童が学んできたことを紹介できた。
- ・低学年は、地域包括センターの方と連絡を取ることができ、福寿会の方と交流をし、昔遊びを教わることもできた。
- ・本校の教員事情や近隣の情報などを情報交換することで、福島中学校に家庭科の時間講師を紹介することのきっかけになった。

地域での活動面において

◎中間報告

- ・地域と連携をすることで、児童の関心が高まり、保護者以外にも、地域の方々が見守っているという意識が向上し、放課後の遊びの際にも挨拶をしたという声が多くなった。
- ・地域行事の紹介方法を、PTAと連携し、mailで配信したり、学校でお便りを配布したりと工夫することができた。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・地域の取組に、児童たちの参加が年々減少している傾向がある。その中でも、今年度、活動したサマーキャンプや収穫祭（もちつき）、凧あげ大会に参加する子供たちの声を聞くと非常に楽しそうであった。時代に合わせた参加の仕方を検討していくことも必要である。
- ・収穫祭に、mailでお手伝いをお願いを出したところ多くの保護者が参加をしてくれた。今後は、紙面だけでなく、工夫をしながら、参加希望を採ることも検討していく。
- ・3、4年生が地域の避難所の取組を学び、防災プロジェクトを立ち上げ、保護者や地域に向けて発表をした。

地域資源を活用した学校での取組状況について（最終報告時に作成）

- ・地域の田んぼをお借りして、2、5年生を中心に、米作りの体験をさせていただいた。
- ・材木屋を営んでいる方から、廃材の提供をしていただいた。
- ・福寿会・・・1年生の生活科の学習で、一緒に昔遊びをさせていただいた。
- ・車人形・・・5年生の総合・伝統文化の学習で体験させていただいた。
- ・町探検・・・近隣のお店に行き、インタビューしたり、体験をさせていただいたりする。

翌年度に向けた展望（最終報告時に作成）

今年度、学運協の委員の方々から教えていただいた情報を生かして、教育活動に役立てることができた。来年度も、4月当初から、職員に声を掛けていき、地域の方とともにできることを計画していく。また、今年度、計画した内容も、来年度の児童の実態に照らし合わせて検討していく。

令和6年度

学校運営協議会（最終報告）

令和7年2月

学校名 昭島市立武蔵野小学校

1. 学校運営協議会委員

	氏名	役職	選出区分
会長	雨倉 寿久	保護司	学校の運営に資する活動を行う者
副会長	松本 智子	主任児童委員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	下野 和生	地域支援者	学校の運営に資する活動を行う者
委員	山本 和代	武蔵野小放課後子ども教室運営委員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	岩崎 成昭	多磨育成会 むさしの保育園事務長	地域住民
委員	福島 由佳	武蔵野小元PTA会長	地域住民
委員	根津 美穂	武蔵野小PTA会長	保護者
校長	大河原 博	本校 校長	本校 校長
副校長	大森 雅之	本校 副校長	本校 副校長

2. 開催日及び主な議題等

	日付	内容	備考
第1回	令和6年6月7日(金) 18時～19時	1 校長より 2 委員紹介 3 学校運営協議会組織づくり 4 学校経営計画 5 学校運営協議会運営目標および活動計画 6 令和6年度教育課程について 7 情報交換	学校公開時
第2回	令和6年10月12日(土) 14時～15時	1 校長より 2 運動会の様子について 3 2学期の学校の様子について 4 学校運営協議会の予算について 5 その他(情報交換)「武蔵野小教職員との顔合わせ」	運動会終了後
第3回	令和6年11月16日(土) 14時～15時	1 校長より 2 50周年記念式典について	50周年記念式典への参加
第4回	令和7年1月18日(土) 11時30～12時30	1 校長より・3学期の学校の様子概要 2 学校公開・道徳授業地区公開講座の様子 3 3学期の学校の様子について 4 学校関係者評価について 5 その他(情報交換)	学校公開時
第5回	令和7年2月21日(金) 18時～19時	1 校長より・学校運営計画・卒業式、入学式について 2 学校関係者評価について 3 3学期の学校の様子について 4 次年度の計画について 5 その他(情報交換)	年度末

3. 学校運営協議会の取り組みにおける成果と課題

児童・生徒面において

◎中間報告

「成果」

- ・児童の状況を報告し、意見や質問を受けることで対応を改善することができた。
- ・行事の感想(児童のがんばり等)を朝会で児童に伝えることができ励みになった。

「課題」

- ・児童に直接会う場面がないため、児童に役割を伝えていくことも必要だと考える。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

「成果」

- ・意見や質問を受けることで対応を改善することができ、次年度の課題が明確になった。
- ・行事を参観していただいたことで、次年度の改善につなげることができた。

「課題」

- ・児童に直接会う場面を設定し、地域運営学校の意識を高める必要がある。

教員面において

◎中間報告

「成果」

- ・年度当初に教職員と顔合わせを行ったことで、職員が学運協のメンバーと役割を理解することができた。

「課題」

- ・より協働して教育活動を推進するために、教職員と相互の意見交流をする場面を設定する必要がある。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

「成果」

- ・職員が学運協の役割を理解したことで、「地域に根差した学校」との意識が高まった。

「課題」

- ・学運協と教職員と相互の意見交流をする場面を設定する必要がある。

地域での活動面において

◎中間報告

「成果」

- ・委員の方から地域の活動について、ご意見をいただくことで学校と地域の連携がより深まった。

「課題」

- ・地域人材をより活用するために、委員の方からよりご意見をいただく必要がある。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

「成果」

- ・学運協の活動を通して、学校と地域の連携がより深まった。

「課題」

- ・地域人材をより発掘し活用するために、学運協の方々から情報やご意見をいただく必要がある。

翌年度に向けた展望（最終報告時に作成）

- ・初年度の成果を生かし、課題を明確にして各回の内容を設定する。
- ・児童や職員と直接意見交換できる場面を設定し、児童や教職員にとって学運協がより身近に感じられる取組を設定する。
- ・学運協を通して、より地域と密接に連携できる取組を設定する。

令和6年度

学校運営協議会（最終報告）

令和7年2月

学校名 昭島市立中神小学校

1. 学校運営協議会委員

	氏名	役職	選出区分
会長	井ヶ田 博	元昭島市立公立小学校PTA協議会会長	地域住民
副会長	金子 真吾	元中学校長	地域住民
委員	加藤 光雄	主任児童委員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	北村 実	まちづくり市民会議なかがみ会長	地域住民
委員	長谷川 英夫	昭島市連合自治会 第5ブロック長	地域住民
委員	渡辺 健二	昭島市連合自治会 第6ブロック長	地域住民
委員	篠 晴美	青少年とともにあゆむ中神小学校地区委員	地域住民
委員	水原 英樹	PTA会長	保護者
校長	松井 茂	校長	校長
副校長	杉本 幸司	副校長	副校長

2. 開催日及び主な議題等

	日付	内容	備考
第1回	6月1日	・校長挨拶 ・自己紹介 ・委嘱状授与 ・学校経営方針について ・学校評価について ・本年度の教育課程について ・本年度の生活指導について ・本年度の研究について ・意見交換	14時開始 午前中 道徳授業地区 公開講座 委員長、副委員長 の選出も行う。
第2回	10月19日	・学校運営状況概要（組織・予算・施設など） ・教育課程の進捗状況について ・学校評価中間評価結果について ・児童の状況について ・令和6年度研究発表に向けた進捗状況 ・意見交換	14時開始 午前中 運動会
第3回	11月16日	・学校運営状況概要（組織・予算・施設など） ・教育課程の進捗状況について ・児童の状況について ・令和6年度研究発表に向けた進捗状況 ・意見交換	14時開始 午前中 音楽会
第4回	1月9日	・学校運営状況概要 ・教育課程の進捗状況 ・令和6年度の研究発表の進捗 ・令和7年度の学校行事概要について ・児童の状況について ・児童・保護者アンケート結果	16時開始
第5回	2月8日	・学校運営状況概要 ・令和6年度の教育課程の進捗状況 ・令和6年度の校内研究の進捗状況 ・令和7年度の学校運営の方針について ・児童の状況について	14時開始 午前中 ふれあいとちの木 まつり

3. 学校運営協議会の取組における成果と課題

児童・生徒面において

◎中間報告

- ・「児童が自主的に活動に励む姿が教育活動全体で見られる。大切な力であるので、是非、継続していただきたい。」とのご意見をいただいた。
- ・「中学校に進学すると、不登校の要因が『学力』となってくる。小学校のうちに学力をしっかりと付けさせていただきたい。」とのご意見をいただいた。課題として取り組む。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・児童が主体となって学校生活を送っている具体的な姿を見ていただき、評価をいただくことができた。
- ・学習面において、児童の学力を付けるためにICTの最適な活用場面の精査などを行い、教育活動を進めるように要望がなされた。

教員面において

◎中間報告

- ・生活科・総合的な学習の時間を中心として、地域を学びの場としていることについては、地域から評価されている。「もっと教員が積極的に関わってほしい。」という声が出るほど、協力的であり、今後の教員の研鑽に有効である。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・生活科・総合的な学習の時間を中心として、地域を学びの場としていること、その姿勢について評価を得ることができた。
- ・自治会や商工会など地域の組織のより積極的な活用を図るよう、要望があった。

地域での活動面において

◎中間報告

- ・本校の実践についてご理解をいただいているだけでなく、児童の学習に有効な地域の組織や題材、行事の機会についての情報提供を毎回いただき、有益な会となっている。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・地域との連携を図った教育活動に対して理解が得られた。今後の課題として、児童や保護者が地域への具体的な参画に対して、より積極的に関わるよう、その意識を継続して育てるよう、要望があった。

地域資源を活用した学校での取組状況について（最終報告時に作成）

- ・第1回目の学校運営協議会より、昭島市教育委員会研究指定校として生活科・総合的な学習の時間を中心として地域資源を活用した取組の推進についてご理解を得ていたのを受け、更なる地域資源を提供していただくことができた。今後も継続して活用していく。

翌年度に向けた展望（最終報告時に作成）

- ・回を重ねるごとに教育活動の詳細な部分に対してもご意見、ご提案をいただけるようになった。また、児童の活動や授業を参観していただくことができた。今後も積極的に保護者・地域と協働しながら教育活動が図っていけるようにしていく。

令和6年度

学校運営協議会（最終報告）

令和7年3月

学校名 昭島市立つつじが丘小学校

1. 学校運営協議会委員

	氏名	役職	選出区分
会長	横山 四郎	自治連19ブロック長	地域住民
副会長	柳井 俊男	自治連17ブロック長	地域住民
委員	吉元 伊津子	昭島市民生児童委員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	大隈 博幸	ウィズユース委員長	地域住民
委員	角田 香奈	前本校PTA会長	地域住民
委員	宮里 成子	昭島市民生児童委員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	三浦 香代子	元本校PTA会長	地域住民
委員	堀田 信博	本校PTA会長	保護者
校長	大友 基裕	昭島市立つつじが丘小学校 校長	校長
副校長	鈴木 隆弘	昭島市立つつじが丘小学校 副校長	副校長

2. 開催日及び主な議題等

	日付	内容	備考
第1回	令和6年6月21日	① 自己紹介 ② 学校運営協議会の趣旨説明 ③ 令和6年度学校経営の概要 ④ 学校関係者評価について ⑤ 意見交換	
第2回	令和6年9月20日	① 校長挨拶 ② 児童の様子 ③ 意見交換 ④ その他連絡事項等	
第3回	令和6年10月26日	① 校長挨拶 ② 児童の様子 ③ 意見交換 ④ その他連絡事項等	
第4回	令和6年11月16日	① 校長挨拶 ② 児童の様子 ③ 意見交換 ④ その他連絡事項等	
第5回	令和7年2月8日	① 校長挨拶 ② 学校関係者評価 ③ その他連絡事項等	

3. 学校運営協議会の取組における成果と課題

児童・生徒面において

◎中間報告

・全校遠足や日々の登下校の見守りなど、地域の方々に厚く支援をいただき、子供たちが安全に、安心して学校生活を送ることができている。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

・様々な場面で地域の方々に厚く支援をいただき、子供たちが安全に、安心して学校生活を送ることができた。

教員面において

◎中間報告

・物品や部品を借りたり、行事等で人的なサポートをいただけたり、日々の教育活動に大きな支援をいただくことができた。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

・様々な場面で地域の方々に厚く支援をいただき、日々の教育活動を充実させることができた。

地域での活動面において

◎中間報告

・ハイツ祭りやブロック運動会など、地域行事に教職員が参加することで、地域の方々と連携を深めることができた。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

・地域行事に教職員が参加させていただくことで、地域の方々と連携を深めることができた。

地域資源を活用した学校での取組状況について（最終報告時に作成）

・より一層の活用が必要である。

翌年度に向けた展望（最終報告時に作成）

・今年度同様に、全校遠足のサポーターや日々の見守りなどに支援をいただく。
・地域人材を活用した特別授業を一層充実させていく。

令和6年度

学校運営協議会（最終報告）

令和7年3月

学校名 昭島市立光華小学校

1. 学校運営協議会委員

	氏名	役職	選出区分
会長	橋本 一政	グリーンボランティア代表	地域住民
副会長	伊藤 幸枝	上の原保育園長	地域住民
委員	野口 馨	自治会連合会第8ブロック長	地域住民
委員	日恵野 裕之	少年補導員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	山崎 秋二	光華小学校地区委員長	地域住民
委員	瀬尾 三枝子	本校PTA会長	保護者
委員	久下 さかえ	放課後子ども教室コーディネーター	地域住民
委員	秋元 平良	特定非営利活動法人 代表	学校の運営に資する活動を行う者
校長	眞砂野 裕	本校校長	校長
副校長	佐藤 真由美	本校副校長	副校長

2. 開催日及び主な議題等

	日付	内容	備考
第1回	6月26日（水）	・自己紹介 ・委嘱状 ・学校経営方針について ・委員より	
第2回	8月28日（水）	・1学期の教育活動について ・委員より	
第3回	10月12日（土）	・学校運営協議員研修動画視聴 ・2学期の教育活動について ・委員より	スポーツフェスティバル後
第4回	11月30日（土）	・学校経営方針と児童の姿について ・地域学校協働本部について ・委員より	展覧会 こどものまち後
第5回	2月8日（土）	・学校アンケートの結果について ・翌年度の展望 委員より	たてわり防災フェス後

3. 学校運営協議会の取組における成果と課題

児童・生徒面において

◎中間報告

スポーツフェスティバルでは、児童が主体的に動く姿があった。
それは、学校経営に即している。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

児童が主体的に動ける学校である。教職員は動けるステージを用意していた。

教員面において

◎中間報告

研修動画には、人事の要望ができるとある。具体的にはどのように行うのか。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

人事の介入ということではなく、校長の人事構想にご理解いただく方向。

地域での活動面において

◎中間報告

プレイパーク開催時やウィズユースの行事には、卒業生が関わっている。そうした姿が在校生に引き継ぎ、つながってほしい。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

来年度も卒業生が関わる予定である。6年生にアンケート回収済み。
ウィズユースのリーダー研修会の内容と充実について、学校運営協議会でも協議。地域参加の充実を図っていく方向。

地域資源を活用した学校での取組状況について（最終報告時に作成）

防災教育については、地域・市役所と連携した取り組みができた。
取り組みについて、運営協議会の委員も参加した。

翌年度に向けた展望（最終報告時に作成）

地域コーディネーターの確立。地域との連携を深めた教育活動。学校安全・学校防災などの連携しやすいところから、教師の働き方改革を支えられるような活動ができないか協議していく。

令和6年度

学校運営協議会（最終報告）

令和7年3月

学校名 昭島市立成隣小学校

1. 学校運営協議会委員

	氏名	役職	選出区分
会長	榎本 成夫	地区委員長	地域住民
委員	鈴木 知弘	PTA会長	保護者
委員	松野 紀代美	昭和保育園長	地域住民
委員	田中 美和	昭島市民生児童委員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	幸田 義康	宮沢町自治会代表	地域住民
委員	坂本 真弥	宮沢町子供会代表	地域住民
委員	関塚 清美	遊びの広場ボランティア代表	地域住民
委員	猪狩 正博	清泉中学校PTA	地域住民
校長	松川 靖弘	本校校長	校長
副校長	川上 卓哉	本校副校長	副校長

2. 開催日及び主な議題等

	日付	内容	備考
第1回	6月24日（月）	(1) 学校長あいさつ (2) 参加者自己紹介 (3) 教育委員会からの委嘱状交付 (4) 学校より (5) 学校運営協議会の皆様より	
第2回	8月28日（水）	(1) 学校長あいさつ (2) 諸連絡 (3) 研修 (4) 取組について	
第3回	10月28日（月）	(1) 学校長あいさつ (2) 学校より ①学校経営重点計画中間報告 ②学校の様子について (3) 学校運営協議会の皆様より	
第4回	11月30日（土）	(1) 学校長あいさつ (2) 学校より ①学校の様子について ②展覧会・授業参観について (3) 学校運営協議会の皆様より	
第5回	1月25日（土）	(1) 学校長あいさつ (2) 学校より ①学校経営重点計画年度末評価 ②学校の様子について ③道徳授業地区公開講座 (3) 学校運営協議会の皆様より	

3. 学校運営協議会の取組における成果と課題

児童・生徒面において

◎中間報告

学校運営協議会委員の皆様へ学校の様子をお伝えし、また、学校の様子を見て頂いたことで学校教育についてご理解を得ることができた。また、それぞれの立場から多角的なご意見をいただき、児童理解に生かすことができた。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

学校運営協議会委員の皆様へ学校の様子を知って頂き、学校教育についてご理解を得ることができた。また、今年度は高学年で児童のトラブルが多く発生したが、地域での児童の様子を共有したり、地域の方で見守って頂いたりすることができた。

教員面において

◎中間報告

十分ではないが、教員の様子や活躍について地域に知ってもらうことができた。今後は運営協議会に参加する教員を増やすことができるように、開催時間を勤務時間内にしていく。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

管理職以外の教員との連携はほとんどできなかった。運営協議会では授業を見て頂いたり、教員の様子についてお話はしたが、教員側がほとんど参加できていないことは大きな課題である。

地域での活動面において

◎中間報告

児童の見守り活動を実施していただいた。本校はPTA活動が盛んであったが、来年度以降のPTA活動の縮小を踏まえ、学校運営協議会との活動を増やしていきたい。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

来年度のPTA活動の休会を受けて、学校運営協議会でできることを話し合い、活動の一部を担っていくことになった。近隣自治会も活動縮小の動きがあり、学校運営協議会の活動が重要であることが話し合われた。

地域資源を活用した学校での取組状況について（最終報告時に作成）

今年度は2年生の町探検に、地域の施設や商店の協力をいただくことができた。今後はPTAと連携したホタル観察会などの行事を学校運営協議会で行っていくことを検討している。来年度は地域を中心とした外部人材の活用を重点として取り組む方針である。

翌年度に向けた展望（最終報告時に作成）

教職員との連携強化、地域資源を活用した活動の強化を軸として、学校運営協議会の活動をより一層推進していきたいと考えている。

学校運営協議会（最終報告）

令和7年2月

学校名 昭島市立田中小学校

1. 学校運営協議会委員

	氏名	役職	選出区分
会長	森島 徳幸	前16ブロック長、前田中町自治会長	地域住民
副会長	吉本 三代子	田中小地区委員会委員長、昭島市民生児童委員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	岩崎 剛志	田中小地区委員会副委員長	地域住民
委員	佐々木 啓雄	田中小地区委員会委員、地域協力者	地域住民
委員	伊東 友香	PTA会長、田中小地区委員会副委員長	保護者
委員	石川 博朗	前拝島第一小学校長、元田中小学校副校長	学識経験者
校長	星野 典靖	田中小学校 校長	校長
副校長	木村 正幸	田中小学校 副校長	副校長

2. 開催日及び主な議題等

	日付	内容	備考
第1回	令和6年6月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長より、委嘱状授与 ・ 自己紹介 ・ 学校運営協議会について ・ 意見交換 ・ 次回の予定 	道徳授業地区公開講座を実施
第2回	令和6年7月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長より ・ これまでの学校の様子について ・ 地域人材の活用について ・ 意見交換 ・ その他連絡事項等 	
第3回	令和6年9月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長より ・ これまでの学校の様子について ・ 田中小の安全教育について ・ 意見交換 ・ その他連絡事項等 	セーフティ教室、学校公開を実施
第4回	令和6年11月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長より ・ 展覧会の様子について ・ 意見交換 ・ 学校関係者評価について ・ その他連絡事項等 	展覧会保護者鑑賞日
第5回	令和7年2月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長より ・ 学校公開の様子について ・ 意見交換 ・ 来年度の計画について ・ その他連絡事項等 	学校公開日を実施

3. 学校運営協議会の取組における成果と課題

児童・生徒面において

◎中間報告

「成果」

・学校運営協議会にて児童の様子を報告する為、情報をコンパクトにまとめる機会となった。また、2か月程のスパンで情報交換することで学校経営の進捗を確認することができた。

「課題」

・公開の様子などを参観することはできるが、直接の交流はない為、何かしらの交流機会を設ける必要がある。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

「成果」

・約2か月程のスパンで情報交換することで学校経営の進捗を確認しつつ、児童の様子を報告することができた。特にマイナス面の情報に対して、関わっていくとの言葉をもらえた。

「課題」

・公開の様子などを参観だけでなく直接の交流ができるよう、地域コーディネーターとして関わる場面を具体的につくっていく必要がある。

教員面において

◎中間報告

「成果」

・現在の学校現場の課題を聞いてもらえることで、よき理解者となり、学校だけでは解決できないことを運営協議員の立場から協力していこうとの言葉をいただいた。

「課題」

・直接の交流がなかった為、教員側の運営協議員へのアプローチが弱い。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

「成果」

・学校の抱える課題を共有することで、よき理解者となり、学校だけでは解決できないことを運営協議員の立場から協力してもらえる道筋ができた。職場体験において幅広くつなげていただいた。

「課題」

・直接の交流場面をつくり、具体的なお願いを直接行えるようにする。

地域での活動面において

◎中間報告

「成果」

・地域人材の情報を提供していただいたことで、以前に比べても幅広い目で地域を見ることができるようになった。

「課題」

・教員の地域行事への参加が少ない為、より太いパイプ構築ができていない。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

「成果」

・地域人材の情報を提供していただいたことで、来年度へ向けてゲストティーチャーの選択肢が幅広くなった。

「課題」

・地域行事への参加意識を高め、意見交換やお願いがしやすい状況をつくる必要がある。

地域資源を活用した学校での取組状況について（最終報告時に作成）

・学校運営協議員の働きかけにより、職場体験の訪問先がスムーズに決定され、教員の負担が大きく軽減された。しかし、職場体験での訪問のみにとどまっているので、地域資源の一つとして低学年の学習に交流でよぶなど広げていきたい。

翌年度に向けた展望（最終報告時に作成）

学校運営協議員の中から発信される地域との連携について学校を舞台として行うようにする。学校運営協議員には地域コーディネーターとしての役割を担っていただき、各分野を主導してもらう。また、統括コーディネーターを置き、地域コーディネーターのとりまとめや、学校との折衝・連携を担ってもらいたい。

令和6年度

学校運営協議会（最終報告）

令和7年3月

学校名 昭島市立拝島第三小学校

1. 学校運営協議会委員

	氏名	役職	選出区分
会長	下田 和弘	自治連第11ブロック長	地域住民
委員	上原 裕子	のぞみこども園長	地域住民
委員	小林 洋子	昭島市主任児童委員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	瀬戸本 むつみ	昭島市教育相談室スクールソーシャルワーカー	関係行政機関の職員
委員	松尾 洋子	本校PTA会長	保護者
校長	小原 弘樹	本校 校長	校長
副校長	神宮 正和	本校 副校長	副校長

2. 開催日及び主な議題等

	日付	内容	備考
第1回	令和6年7月17日	① 自己紹介 ② 委嘱状交付 ③ コミュニティ・スクールの説明 ④ 会長挨拶・委員より ⑤ 今後の展望について	
第2回	令和6年10月25日	① 会長挨拶 ② 校長挨拶 ③ 学校より取り組み説明 ④ 委員より ⑤ その他連絡事項等	
第3回	令和5年11月18日	① 会長挨拶 ② 校長挨拶 ③ 学校より取り組み説明 ④ 委員より ⑤ その他連絡事項等	
第4回	令和6年1月27日	① 会長挨拶 ② 校長挨拶 ③ 学校より取り組み説明 ④ 教育推進計画のまとめ ⑤ 委員より	
第5回	令和6年2月22日	① 会長挨拶 ② 校長挨拶 ③ 学校より取り組み説明 ④ 委員より ⑤ 次年度に向けて	

3. 学校運営協議会の取り組みにおける成果と課題

児童・生徒面において

◎中間報告

・地域人材についての情報共有をすることができた。「地域人材を活用した授業」をテーマとして、次年度の年間計画作成に向けて、より具体的な話し合いの場として活用していく。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

・地域行事との関わり方を含め、地域人材の具体的な情報共有をすることができた。次年度の年間指導計画のなかで、地域人材をゲストティーチャー等で活用していけるように、更に情報共有を重ね、具体的な授業計画を検討していく。

教員面において

◎中間報告

・地域人材の豊富さに気付き、児童の実態や教師のねらいに合わせて、様々な人材を活用した授業を計画していくための意見交流の場として活用していく。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

・本年度の5回の運営協議会を通して、本校の全教職員が参加することができた。運営協議会委員の方からも交流できたことへの評価をいただいた。次年度も引き続き、計画的な配置を考えて、意見交流を進めていく。

地域での活動面において

◎中間報告

・地域行事に教職員が参加する情報共有の場として、地域の方々と連携を深めることができた。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

・若手人材の地域活動への参加意識が高まり、よき研修の場とすることができた。次年度は、早めに地域からの情報を得て、より計画的な参加の仕方を模索していく。

翌年度に向けた展望（最終報告時に作成）

・コミュニティ・スクールの初年度として、校内研究のテーマに位置づけながら、進めてきた1年であった。今年度の成果と課題を検証して、次年度、更に組織的かつ具体的な取り組みを計画・推進できるように準備を進めていく。

令和6年度

学校運営協議会（最終報告）

令和7年3月

学校名 昭島市立瑞雲中学校

1. 学校運営協議会委員

	氏名	役職	選出区分
会長	宮田 次朗	つつじが丘ハイツ北住宅管理組合理事長	地域住民
副会長	松本 智子	主任児童委員兼本校教育活動支援員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	雨倉 寿久	保護司兼本校学校と家庭の支援員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	阿部 浩	自治連第20ブロック長	地域住民
委員	齋藤 夕子	前PTA会長	地域住民
委員	太田 弥生	元PTA副会長	地域住民
委員	福島 由佳	前PTA事務局長	保護者
委員	胡桃沢 陽子	PTA事務局長	保護者
校長	山下 久也	本校校長	校長
副校長	三田 祐太	本校副校長	副校長

2. 開催日及び主な議題等

	日付	内容	備考
第1回	令和6年6月6日 15:30～	①自己紹介 ②令和6年度学校経営方針 ③各分掌から ④意見交換	
第2回	令和6年7月16日 15:30～	①各分掌から1学期の報告 ②部活動活動報告 ③意見交換	
第3回	令和6年9月21日 9:35～	①授業参観（道徳授業地区公開講座） ②道徳授業協議会 ③全教員との顔合わせ・情報交換 ④事務連絡（人事要望の検討について）	
第4回	令和6年12月11日 15:30～	①各分掌から2学期の報告 ②修学旅行実施報告 ③進路面談を終えて ④情報交換	
第5回	令和7年3月14日 15:30～	①スキー教室実施報告 ②職場体験実施報告 ③今年度の総括 ④来年度に向けて ⑤情報交換	

3. 学校運営協議会の取組における成果と課題

児童・生徒面において

◎中間報告

- ・道徳授業地区公開講座の授業参観を各委員の方にしていただいた。現状の生徒の実態を把握していただくことができた。
- ・道徳授業地区公開講座の協議会では、保護者・運営協議会委員・教員で協議をすることができた。それぞれの立場から有意義な意見交換をすることができた。
- ・生活指導部からふれあい月間における取組み報告を行い、委員と情報交換をすることができた。学校だけでは見えない地域の情報を把握することができた。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・地域参加をしたボランティアの集約を各委員と共有することができた。
- ・次年度以降さらに地域で活躍できるように地域からの情報を学校が共有できるようにする。
- ・地域の目で子どもたちを育てていくメッセージを年間を通じて発信できるようにする。

教員面において

◎中間報告

第3回運営協議会において、全教員と委員の懇談会の時間を設定した。日頃は管理職と主幹教諭との情報交換だけだったので、今年度初めて全ての教員との顔合わせの時間をもった。委員の方からは「実際の先生方からのお話が聞けてよかった。」「またこのような時間を設定してほしい。」などのご意見をいただいた。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・次年度は第1回の協議会で全教員との自己紹介や懇談ができる時間を設定していく。
- ・委員の方のご意見を全教員で共有できるように協議会議事録等を教員回覧していく。

地域での活動面において

◎中間報告

- ・夏祭りや地域合同防災訓練など各種の行事に各委員の方が参加しているので、学校との連携が容易にできている。
- ・生活指導部ボランティア担当から年間を通しての地域ボランティア参加人数表が示され、地域の多くの生徒が活躍している報告をすることができた。
- ・地域と学校がつながる連絡方法の構築が課題である。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・今年度同様、次年度も多くの生徒がボランティア活動に参加できるように募集をしスムーズに参加できるようにしていく。
- ・ボランティア部と生徒会を中心にボランティア活動の意義や重要性などを全校生徒に発信し、全校でボランティアに参加していけるようにする。

地域資源を活用した学校での取組状況について（最終報告時に作成）

- ・職場体験の受け入れ先については委員の方から情報提供や事前に連絡などしていただき、今までになかった事業所の受入をすることができるようになった。
- ・職場体験については地域のコーディネート役として委員の方に学校と事業所のかけはしをしていただけるようにしていく。

翌年度に向けた展望（最終報告時に作成）

学校運営協議会委員の皆様には、今まで以上に学校経営に参画していただけるようにしていく。そのためには学校の情報を優先順位をつけて効率的に発信していくことが大切である。

令和6年度

学校運営協議会（中間報告）

令和7年3月

学校名 昭島市立清泉中学校

1. 学校運営協議会委員

	氏名	役職	選出区分
会長	日恵野 裕之	清泉中学校同窓会 会長	学校の運営に資する活動を行う者
副会長	鈴木 知弘	PTA会長	保護者
委員	野口 馨	自治連第8ブロック ブロック長	地域住民
委員	神田 美裕	おやじの会（卒業生保護者）	地域住民
委員	守屋 百合子	昭島市青少年補導連絡会清泉中学校地区委員会 会長	地域住民
委員	加藤 光雄	昭島市主任児童委員	地域住民
委員	松崎 真理子	都立五日市高等学校校長	学識経験者
校長	佐藤 晴美	清泉中学校 校長	校長

2. 開催日及び主な議題等

	日付	内容	備考
第1回	6月10日（木）	・令和6年度の会議日程、議題について ・令和6年度の学校経営方針 ・令和6年度の組織 ・令和6年度の予算及び令和7年度の予算に向けて ・各組織と学校との連携について	
第2回	9月14日（土）	・学校運営協議会が考える（求める） 学校像、生徒像、保護者・地域像 ・本校の教育活動について ・保護者、地域と学校教育の協働について①	学校公開 道徳授業地区公開講座
第3回	11月28日（木）	・令和7年度の教育課程に向けて ・保護者、地域と学校教育の協働について② ・清泉祭について ・その他	
第4回	12月17日（火）	・昭島市教育委員会教育指定校の取組状況について ・学校評価について① ・令和7年度の教育課程について① ・保護者、地域と学校教育の協働について③ ・その他	
第5回	2月10日（月）	・学校評価について② ・令和7年度の学校運営協議会について ・令和7年度の教育課程について② ・令和7年度の組織について ・その他	

3. 学校運営協議会の取組における成果と課題

児童・生徒面において

◎中間報告

- ・学年主任、生活指導主任より、生徒の様子について報告を行った。委員からは、授業の様子、日頃の登下校時の様子等を踏まえて、生徒の活動について協議を行った。
- ・学力調査の結果をふまえて、学力、生徒の現状等について協議を行った。
- ・生活指導主任より校則について（標準服の着用ルール、ポロシャツの着用）提案を行い、現在協議中である。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・標準服の美しい着用の協議を行い、学校での生徒対応を行ってきた。また、セーター・ベストの色についても肯定的な意見のもとに進めている。
- ・学力調査の結果やいじめに対する学校の対応を協議し生徒の状況を共有した。

教員面において

◎中間報告

- ・授業参観を踏まえ、委員から教員の対応のよさについて意見がでた。さらに、生徒の主体性を伸ばすために協議を行った。
- ・研究指定校としての取組を説明し、授業改善への取組を協議を行った。
- ・学校のいじめ対策委員会や不登校対応について説明し、協議を行った。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・学校公開日での授業参観から、研究指定校としての取組について協議を行った。肯定的な意見、改善点について意見を教員に還元し、授業改善を行った。
- ・学校いじめ対策委員会の実施報告や不登校対応について取組状況について協議を行い、学校への協力体制について確認できた。

地域での活動面において

◎中間報告

- ・2年学年主任より職場体験活動の事業所の提供依頼した。協議を行い、職場体験先の提供あり。
- ・1年学年主任より働くを考える授業について依頼した。協議を行い、地域の方の協力を得て取り組む。
- ・生徒を支えていく上で、外部機関（民生委員等）との連携について協議を行った。
- ・生徒、地域、教員が連携し、校内の環境（廊下の塗装塗り替え）を実施。今後の活動について協議継続中である。
- ・清泉祭が生徒主体の活動の場とするため、協議継続中である。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・夏季休業期間に生徒と教職員、清泉中学校おやじの会、PTAの役員で、校内の壁の美化活動を実施した。この結果、学年末に、校内の壁の美化活動へ生徒の主体的な活動につながった。また、PTAの支援により、花を植える作業を行うなど、生徒の環境への意識向上につながった。
- ・清泉祭では、地域の方の支援により、生徒が主体的な活動を行う事ができた。

地域資源を活用した学校での取組状況について（最終報告時に作成）

- ・職場体験の場所の提供
- ・働く事を考える授業（地域の方の話を聞く会）
- ・清泉祭
- ・青少年補導連絡会懇談会（生徒との意見交換会）

翌年度に向けた展望（最終報告時に作成）

- ・学校運営協議会に所属する各委員の団体と連携を図り、活動の充実化を図る。

令和6年度

学校運営協議会（最終報告）

令和7年3月

学校名 昭島市立多摩辺中学校

1. 学校運営協議会委員

	氏名	役職	選出区分
会長	秋山 宏俊	補導連絡会委員長	学校の運営に資する活動をする者
副会長	定森 夏子	多摩辺中学校 副校長	副校長
委員	臼井 規次	保護司、坂下自治会長	学校の運営に資する活動をする者
委員	森島 徳幸	元本校PTA会長、元学校評議員	地域住民
委員	吉本 三代子	田中小地区委員長、補導連絡会委員	学校の運営に資する活動をする者
委員	谷部 秀樹	元学校評議員	地域住民
委員	赤堀 義明	元法務省人権擁護委員、元中学校教員	学識経験者
委員	阿部 陽子	PTA役員	保護者
校長	堀田 典子	多摩辺中学校 校長	校長
主幹教諭	櫻井 健一	多摩辺中学校 主幹教諭	主幹教諭

2. 開催日及び主な議題等

	日付	内容	備考
第1回	6月13日（木）	・委員自己紹介 ・会長、副会長選出 ・学校経営方針の説明 ・分掌、学年より報告 ・その他	
第2回	9月21日（土）	・授業参観 ・校長より ・分掌、学年より報告 ・委員の皆様より	学校公開日
第3回	11月8日（木）	・校長より ・授業参観 ・分掌、学年より報告 ・委員の皆様より ・学校評価アンケート実施について	
第4回	1月11日（土）	・授業参観（道徳授業地区公開講座） ・協議会（意見交換） ・学校評価について ・その他	道徳授業地区公開講座
第5回	2月7日（金）	・スキー移動教室実施報告 ・今年度のまとめ ・来年度に向けて ・委員の皆様より	

3. 学校運営協議会の取組における成果と課題

児童・生徒面において

◎中間報告

- ・授業の様子を参観していただき、ICT機器の活用状況や生徒の学習への姿勢を評価していただくことができた。
- ・参観後に意見交換を行うことで、より具体的な意見交流の場となった。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・第4回では、道徳授業を参観していただき、協議会で教員と意見交換をすることができた。今の中学生の現状や、多摩辺中の生徒の様子、家庭での様子について情報共有でき、教員にとっても、有意義であった。
- ・委員の方からは、地域での生徒の様子を聞くことができた。

教員面において

◎中間報告

- ・授業の様子を参観していただいたり、行事の報告をしたりすることで教員の取組を理解していただけた。
- ・校内、校外での現状を報告することで、悩みを共有し、励ましていただけている。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・道徳授業や、その他の教科の授業について、工夫した指導であることやICTの活用も進んでいることなどを評価していただいた。

地域での活動面において

◎中間報告

- ・学校として対応に苦労していることと、地域で対応に苦慮していることを情報共有し、協力体制づくりをしている。
- ・地域の行事として、第10ブロック運動会には生徒が参加して交流を深めた。
- ・今後は、ボランティア活動への生徒の参加を促していけるとよい。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・一年間の学校のまとめの報告と現状を共有することができた。
- ・進路状況や、各学年、特別支援学級の取組についてもそれぞれの担当から報告できた。
- ・委員からは不登校や家庭学習の状況、小学校との連携についての質問や意見があり、学校としての現状を伝えた。

地域資源を活用した学校での取組状況について（最終報告時に作成）

- ・地域の活動への学校からの参加の促進が十分ではないので、今後の課題として継続する。
- ・学習支援の取組について、学運協と連携していけるとよい。

翌年度に向けた展望（最終報告時に作成）

- ・学校評価を受け、来年度は「学力向上」と「キャリア教育」の取組を重点としていく。
- ・学運協では3つのプロジェクト（地域参画・防災・広報）を立ち上げ、学校と連携を図っていく。